

高浜小学校・三村小学校
関川小学校・南小学校
統合校基本計画（案）

石岡市教育委員会

はじめに

この基本計画は、「石岡市立小中学校統合再編計画」で示した「適正規模・適正配置」の実現を目指し、学校区の特性を踏まえながら具体的な取り組み内容について定めるものです。

基本計画の作成にあたっては、「子どもたちの教育にとってよりよい環境を充実させること」を念頭に作成いたしました。

特に、学校教育においては、本市発展の根源は教育にあることを基本理念としており、「郷土＝ふるさと」を担う人材、日本をリードする人材、世界へ羽ばたく人材、次世代を担う人材を健やかに育てていくため、児童生徒に望ましい教育環境や学習環境の構築には保護者・地域・学校等の関係者、そして行政が一体となり、共通理解を図ることが必要不可欠となります。

学校は単なる教育施設ではなく、児童が一日の大半を過ごす学習・生活の場であると同時に、地域の方々にとっても生涯学習、文化、スポーツなどの活動の場でもあります。子どもたちの可能性を引き出す新しい学校づくりは、学校と地域社会が連携し、協働による学校づくりが大切と考えております。

1. 対象校・計画期間・就学区域について

(1) 対象校

この基本計画の定める統合校は、高浜小学校、三村小学校、関川小学校、南小学校とします。

(2) 学校の位置

統合後の学校の位置は、南小学校とします。

(3) 計画期間

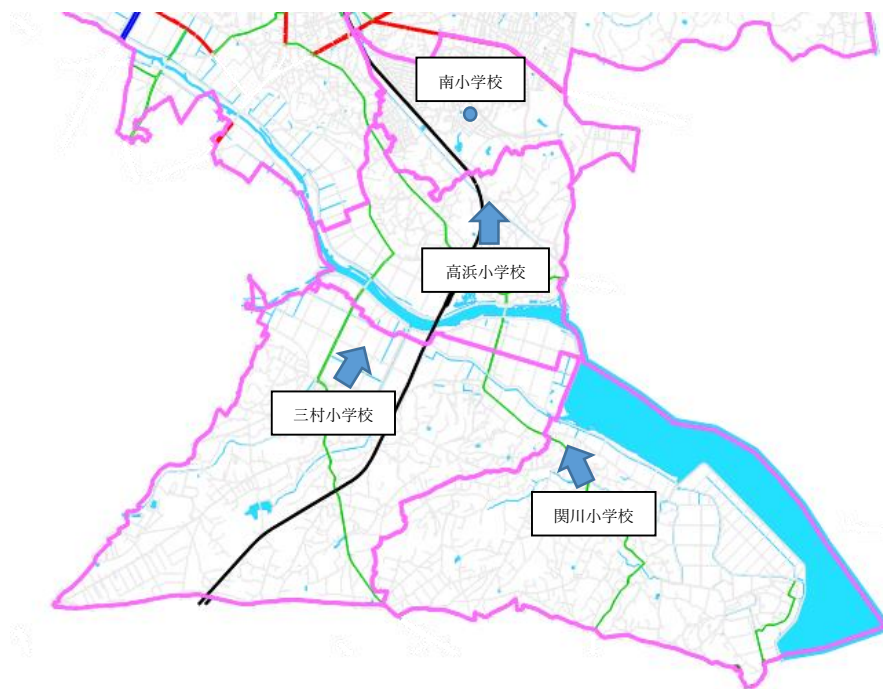
計画期間は令和2年度から令和5年度とし、令和6年度の開校を目指します。

工程	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
施設、敷地の改修工事 学校デザイン 敷地・外構改修工事の内容等				基本設計・実施設計	改修工事		統合
	地域、保護者への説明	説明会開催	説明会開催	説明会開催	HP・統合だより等での公表		
統合に向けた準備 統合に向けた各調整項目の検討			統合検討委員会		各調整項目の検討 校名、校章、校則等の調整、教育課程、教育活動等の調整、 学用品等の調整、交流事業の企画、通学等に係る調整等		

※詳細は統合検討委員会の審議を経て決定することとなります。

(4) 就学区域

就学区域は、高浜小学校、三村小学校、関川小学校、南小学校を合わせた区域とします。



2. 今後の児童数の推移

高浜小学校

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年	11	1	14	1	12	1	14	1	13	1	13	1	11	1
2年	11	1	11	1	14	1	12	1	14	1	13	1	13	1
3年	5	1	11	1	11	1	14	1	12	1	14	1	13	1
4年	9	1	5	1	11	1	11	1	14	1	12	1	14	1
5年	7	1	9	1	5	1	11	1	11	1	14	1	12	1
6年	10	1	7	1	9	1	5	1	11	1	11	1	14	1
合計	53	4	57	4	62	5	67	5	75	6	77	6	77	6

三村小学校

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年	7	1	8	1	7	1	7	1	12	1	6	1	6	1
2年	9	1	7	1	8	1	7	1	7	1	12	1	6	1
3年	10	1	9	1	7	1	8	1	7	1	7	1	12	1
4年	14	1	10	1	9	1	7	1	8	1	7	1	7	1
5年	15	1	14	1	10	1	9	1	7	1	8	1	7	1
6年	7	1	15	1	14	1	10	1	9	1	7	1	8	1
合計	62	6	63	5	55	5	48	4	50	4	47	4	46	5

関川小学校

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年	6	1	7	1	12	1	6	1	10	1	5	1	4	1
2年	6	1	6	1	7	1	12	1	6	1	10	1	5	1
3年	5	1	6	1	6	1	7	1	12	1	6	1	10	1
4年	7	1	5	1	6	1	6	1	7	1	12	1	6	1
5年	3	1	7	1	5	1	6	1	6	1	7	1	12	1
6年	6	1	3	1	7	1	5	1	6	1	6	1	7	1
合計	33	4	34	4	43	4	42	4	47	5	46	4	44	5

南小学校

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年	66	2	65	2	65	2	46	2	58	2	46	2	47	2
2年	79	3	66	2	65	2	65	2	46	2	58	2	46	2
3年	81	2	79	3	66	2	65	2	65	2	46	2	58	2
4年	65	2	81	3	79	3	66	2	65	2	65	2	46	2
5年	74	2	65	2	81	3	79	3	66	2	65	2	65	2
6年	73	2	74	3	65	2	81	3	79	3	66	2	65	2
合計	438	13	430	15	421	14	402	14	379	13	346	12	327	12

- ・児童数は特別支援学級の人数を含み、学級数は特別支援学級数を含まない。
- ・令和2年度の児童数及び学級数は、令和2年5月1日現在
- ・令和3年度から令和8年度の児童数及び学級数は、令和2年5月1日現在の住民記録登録者数から推計。
- ・令和3年度以降の学級数は、1学級35人、複式学級は2学年で16人以下で試算。
- ・ は複式学級となる可能性がある学年。
- ・学級数合計の太字は、クラス替えのできない12学級以下となる可能性のある年度。

3. 基本計画策定までの経緯

- H27.1 文部科学省「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」
- H29.8 石岡市立小中学校統合再編計画審議会を設置
 文部科学省からの手引きを受け、新たな人口推計を踏まえた H21.3 石岡市小中学校の適正規模・適正配置等についての答申書の見直し
- H30.9 「石岡市小中学校の適正規模・適正配置等について【答申】」
- H30.12 石岡市小中学校統合計画策定委員会を設置
 石岡市立小中学校統合再編計画審議会からの答申を受け、適正規模・適正配置等についての検討
 アンケートの実施
- R1.6 「石岡市立小中学校統合再編計画」策定

高浜小, 三村小, 関川小, 南小の枠組み

	校舎 建築年	令和2年度(2020年)		令和6年度(2024年)	
		児童数	学級数	児童数	学級数
高浜小学校	S54年 (1979年)	53	4	75	6
三村小学校	S41年 (1966年)	62	6	50	4
関川小学校	S60年 (1985年)	33	4	47	5
南小学校	S51年 (1976年)	438	13	379	13

→

令和6年度(2024年)		
学年	児童数	学級数
1年	93	3
2年	73	3
3年	96	3
4年	94	3
5年	90	3
6年	105	3
合計	551	18

○学校の場所 南小学校

○統合の優先度 A

○選定の理由

- ・ 4校が石岡中学校区であること。
- ・ 高浜小, 三村小, 関川小は3小連携の取組みがされていること。
- ・ 南小学校は4校が統合しても全児童が入れる施設規模であること。
- ・ 複式の解消が図れること。

(1) 石岡市における適正規模の基本的な考え方

地域性や歴史的、地理的な成立ちを考慮しながらも、一定の集団規模の確保は必要との考えから、石岡市の適正規模の基本的な考え方については次のとおりとします。

- 1 小学校においては、クラス替えが可能な各学年2学級以上となる12学級以上が望ましい。
(複式学級の解消を図る)
- 2 中学校においては、クラス替えが可能で、全ての教科の担任が配置できる9学級以上が望ましい。

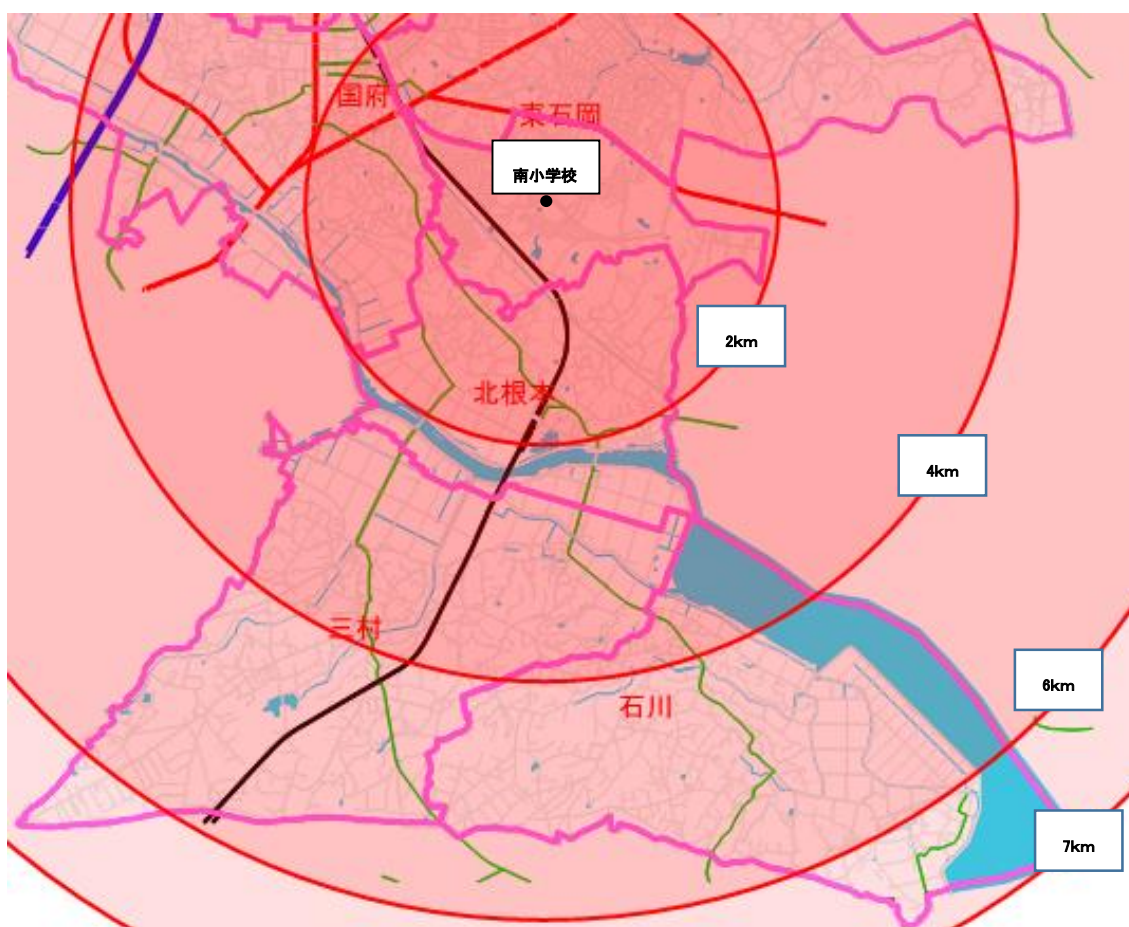
(2) 石岡市における適正配置の基本的な考え方

統合再編により遠距離通学となる児童生徒の負担を考慮しつつ、将来的には適正規模校の配置を目指すという考えから、次のとおりとします。

- ・通学距離による考え方 (通学手段 小学校：徒歩 中学校：徒歩または自転車)
 - 小学校にあつてはおおむね4 km以内、中学校及び義務教育学校にあつてはおおむね6 km以内。
- ・通学時間による考え方
 - 通学手段として遠距離通学者への支援(登下校用のバス運行等)を実施する場合、最長の乗車時間は小中学校の授業時間(45分から50分)を目安にすることが望ましい。

(「石岡市立小中学校統合再編計画」より)

4. 学校からの距離



5. 統合検討委員会及び統合検討専門部会の設置

学校の統合にあたり新校を円滑に開校するため「統合検討委員会」を設置します。「統合検討委員会」の中で統合に係る諸課題の細部について調査、検討するため「統合検討専門部会」を設置するものとし、十分な理解と協力を得ながら進めていきます。

(1) 統合検討委員会

統合検討委員会は①保護者を代表する者、②学校の職員を代表する者、③学区の区長会を代表する者、その他教育委員会が適当と認める者で構成します。

(2) 統合検討専門部会

統合検討専門部会の構成については、統合検討委員会で協議のうえ決定します。専門部会は所掌事項に係る調査、検討業務を行うものとし、その経過及び結果を統合検討委員会へ報告します。また、必要に応じて作業部会を設置することができるものとし、

6. 統合検討委員会及び統合検討専門部会での主な検討事項

統合検討委員会

各専門部会での協議内容の報告を受け，決定していく。

統合検討専門部会

● 総務・庶務部会

統合校の時期・場所・名称等

学校等改修・体育服

教育目標・目指す児童像・校歌・校旗・校訓

記念誌，卒業記念・歴史伝統保存・備品・消耗品

閉校式・開校記念行事

● 行事交流部会

・ 事前の交流事業

・ 学校行事の調整

・ 地域行事の調整

● 通学部会

・ 通学方法検討

 スクールバスの運行

 通学路安全対策

● P T A部会

・ P T A活動等

 P T A組織編制

 規約・役員の選出

 集金・予算・事業計画

等

7. 施設改修について

バス回転場（案）



児童の動線	←
バスの動線	←
送迎車の動線	←

「石岡市学校施設個別施設計画」との連動

限られた財政状況で効率的に施設整備を実施するため、長寿命化改修工事を実施し、建物の目標使用年数をこれまでの60年から80年とします。ただし、躯体の詳細調査で圧縮強度13.5N/mm²未満の校舎や旧耐震基準で建てられた校舎の内、より基準の古い昭和46（1971）年以前に建てられたものは長寿命化せず、建替えで対応します。

（「石岡市学校施設個別施設計画」より）

南小学校は躯体の詳細調査で圧縮強度の基準を満たしており、長寿命化改修の対象となります。

長寿命化改修とは、一般的に施設は経年により老朽化し、また、建物に求められる機能は時代とともに変化します。老朽化していく施設を、将来にわたって長く使い続けるため、単に物理的な不具合を直すのみではなく、建物の機能や性能を現在の学校が求められている水準まで引き上げる改修工事となります。

一般的な長寿命化改修の項目

長寿命化改修工事は、以下の内容で機能回復，機能向上を実施します。

- 屋上防水改修
- 外壁改修
- 内装改修
- 設備機器の更新，配管の更新
- 電気設備の更新
- 教室配置の見直し，増築・減築の検討

施工例

◇外観

改修工事前



改修工事後



◇普通教室

改修工事前



◇廊下

改修工事前



改修工事後



◇外壁

改修工事前



改修工事後



◇屋上防水

改修工事前



改修工事後



◇体育館

鉄骨骨組み以外を解体撤去した全面改修による長寿命化の例

改修工事前



屋根材、外壁材、内装材等の改修中



改修工事後



◇その他



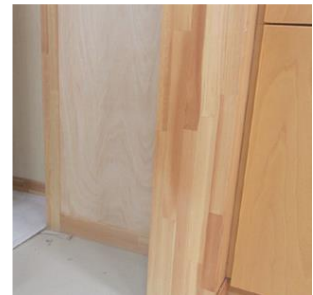
← 欠損部分のまわりをはつりとった状態



← モルタルの付着を良くするための下地材を塗布



はつりとった部分に無収縮モルタルを塗付補



補修完了後に木仕上げを実施

トイレ設備



メモリアルブース



統合する4校の歴史を語る
記念品等を展示

「学校施設の長寿命化改修の事例集」(文部科学省)より

8. アンケート結果抜粋

【問3】 学校統合再編についてどのように思われますか。

小学校区	選択肢	回答数	割合
高浜小	理解できる	21	36.8%
	おおむね理解できる	27	47.4%
	理解できない	1	1.8%
	どちらともいえない	8	14.0%
三村小	理解できる	13	20.0%
	おおむね理解できる	34	52.3%
	理解できない	5	7.7%
	どちらともいえない	13	20.0%
関川小	理解できる	13	39.4%
	おおむね理解できる	14	42.4%
	理解できない	0	0.0%
	どちらともいえない	6	18.2%
南小	理解できる	101	37.1%
	おおむね理解できる	141	51.8%
	理解できない	10	3.7%
	どちらともいえない	20	7.4%

【問4】問3の理由で近いものを選んでください。

近い理由	小学校区		高浜小		三村小		関川小		南小	
メ 統 合 す る	①集団の中で、多様な考えに触れ、協力し合い、切磋琢磨する機会が多い。		41	12.5%	41	10.0%	22	9.0%	165	12.5%
	②切磋琢磨すること等を通じて、社会性や協調性、たくましさ等を育みやすい。		27	8.3%	27	6.6%	22	9.0%	122	9.2%
	③運動会などの学校行事や音楽活動等の集団教育活動に活気が生まれやすい。		28	8.6%	21	5.1%	16	6.6%	114	8.6%
	④児童生徒数、教員数がある程度多いため、グループ学習や習熟度別学習、専科教員による指導など、多様な学習・指導形態を取りやすい。		12	3.7%	17	4.1%	12	4.9%	80	6.1%
デ メ リ ッ ト す る	⑤学校までが遠くなることから、登下校時の安全性が心配。		26	8.0%	36	8.8%	13	5.3%	98	7.4%
	⑥児童生徒の増加により、子ども達一人ひとりの把握が難しくなりやすい。		32	9.8%	37	9.0%	18	7.4%	125	9.5%
	⑦学校行事や部活動等において、児童生徒一人ひとりに個別の活動機会を設定しにくい。		9	2.8%	15	3.6%	7	2.9%	44	3.3%
	⑧保護者や地域社会との連携が難しくなりやすい。		14	4.3%	23	5.6%	9	3.7%	39	3.0%
メ 小 規 模 校 の	⑨児童生徒の一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな指導が行いやすい。		27	8.3%	34	8.3%	17	7.0%	103	7.8%
	⑩学校行事や部活動等において、児童生徒一人ひとりに個別の活動機会を設定しやすい。		7	2.1%	21	5.1%	8	3.3%	21	1.6%
	⑪児童生徒相互の人間関係が深まりやすい。		8	2.4%	17	4.1%	8	3.3%	43	3.3%
	⑫異学年間の縦の交流が生まれやすい。		19	5.8%	27	6.6%	14	5.7%	58	4.4%
デ 小 規 模 校 の	⑬集団の中で、多様な考えに触れる機会や切磋琢磨する機会が少なくなりやすい。		11	3.4%	13	3.2%	15	6.1%	53	4.0%
	⑭クラス替えが困難なことなどから、人間関係や相互の評価等が固定化しやすい。		24	7.3%	24	5.8%	23	9.4%	108	8.2%
	⑮運動会などの学校行事や音楽活動等の集団教育活動に制約が生じやすい。		14	4.3%	19	4.6%	17	7.0%	53	4.0%
	⑯PTA活動等における保護者一人あたりの負担が大きくなりやすい。		28	8.6%	39	9.5%	23	9.4%	95	7.2%
計		327	100.0%	411	100.0%	244	100.0%	1321	100.0%	

【問5】 お子さんの通学する学校または卒業した学校について統合再編は必要ですか。

小学校区	選択肢	回答数	割合
高浜小	すぐに必要	23	41.1%
	将来的には必要	29	51.8%
	必要はない	2	3.6%
	わからない	2	3.6%
三村小	すぐに必要	15	23.1%
	将来的には必要	38	58.5%
	必要はない	5	7.7%
	わからない	7	10.8%
関川小	すぐに必要	14	42.4%
	将来的には必要	15	45.5%
	必要はない	0	0.0%
	わからない	4	12.1%
南小	すぐに必要	19	7.1%
	将来的には必要	115	42.8%
	必要はない	87	32.3%
	わからない	48	17.8%

【問6】資料2の学校統合再編の枠組み案についてどう思われますか。近いものを選んで下さい。

小学校区	選択肢	回答数	割合
高浜小	理解できる	19	33.9%
	おおむね理解できる	31	55.4%
	理解できない	2	3.6%
	どちらともいえない	4	7.1%
三村小	理解できる	13	20.0%
	おおむね理解できる	34	52.3%
	理解できない	7	10.8%
	どちらともいえない	11	16.9%
関川小	理解できる	10	30.3%
	おおむね理解できる	15	45.5%
	理解できない	3	9.1%
	どちらともいえない	5	15.2%
南小	理解できる	89	33.1%
	おおむね理解できる	140	52.0%
	理解できない	6	2.2%
	どちらともいえない	34	12.6%

アンケート添付資料2

(1) 小学校統合の枠組み

学 校 名	平成31年度		統合(案)	平成36年度		学校の場所	統合の優先度
	児童数	学級数		児童数	学級数		
高浜小学校	64	5	高浜小+三村小+関川小+南小	545	18	南小学校	A
三村小学校	65	5					
関川小学校	34	4					
南小学校	428	15					
府中小学校	429	15	府中小+北小	455	17	府中小学校	A
北小学校	37	4					

学 校 名	平成31年度		統合(案)	第1段階		統合(案)	第2段階 (平成36年度時状況)		学校の場所	統合の優先度
	児童数	学級数		児童数	学級数		児童数	学級数		
	瓦会小学校	65	5	瓦会小+恋瀬小 (第1段階)	140	6	恋瀬小+柿岡小+ 林小+小幡小+ 小桜小 (第2段階)	697		
恋瀬小学校	72	6								
葦穂小学校	65	6	葦穂小+吉生小 +柿岡小(第1段階)	253	11					
吉生小学校	37	4								
柿岡小学校	162	6								
林小学校	133	6		128	6					
小幡小学校	102	6		88	6					
小桜小学校	96	6		88	6					

(2) 小中一貫校の枠組み

学 校 名	平成31年度		統合(案)	平成36年度		学校の場所	統合の優先度
	児童生徒数	学級数		児童生徒数	学級数		
石岡小学校	280	11	石岡小+国府中	360	16	国府地区 小中一貫校	B
国府中学校	169	7					
園部小学校	199	8	園部小+東成井小+園部中	432	18	園部地区 小中一貫校	B
東成井小学校	132	6					
園部中学校	159	6					

単独校 (小学校)

学 校 名	平成31年度		平成36年度		統合の優先度
	児童数	学級数	児童数	学級数	
東小学校	510	17	520	17	C(単独校)
杉並小学校	355	12	312	12	C(単独校)

単独校 (中学校)

学 校 名	平成31年度		平成36年度		平成42年度		統合の優先度
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	
石岡中学校	637	20	557	18	555	17	C(単独校)
府中学校	421	13	415	13	388	13	C(単独校)
八郷中学校	428	13	353	12	331	11	C(単独校)

※統合の優先度

A: 急ぐ必要がある小学校 B: やや急ぐ必要がある小学校 C: 急ぐ必要がない小学校, 又は統合の必要がない小学校

9. 既存校の概要

高浜小学校

【敷地概要】

所在地 石岡市高浜 6 2 番地

敷地面積 15,839 m²

【施設概要】

施設名称	面積	構造規模	完成年度	耐震基準	耐震補強
校舎	3,014 m ²	RC 3階建	昭和 53 年	旧	済 (H27)
屋内運動場	784 m ²	S 2階建	昭和 54 年	旧	済 (H25)
プール	1,134 m ²	使用せず			

学校の目標

- よく学ぶ子の育成
- 明るく仲良く生活できる子の育成
- たくましい子の育成

目指す学校像

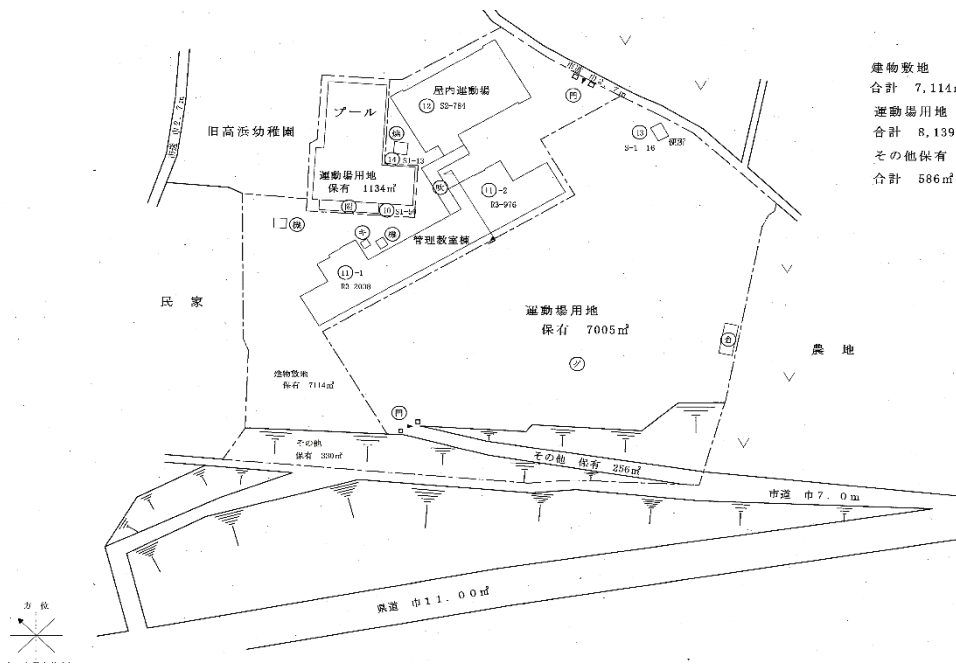
- 元気で活力ある学校
- 仲良く楽しい学校
- 安全できれいな学校

目指す児童像

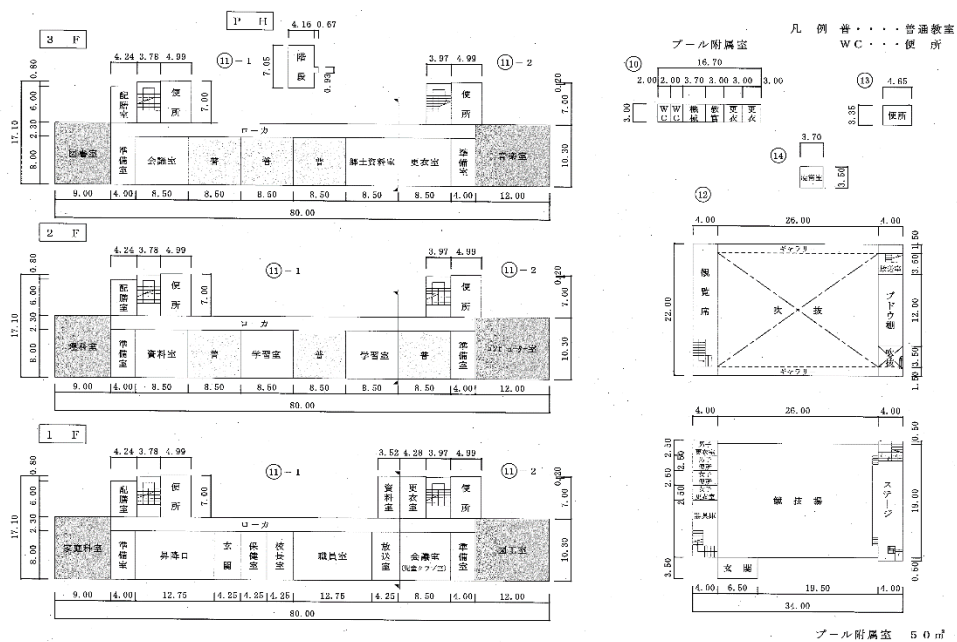
- よく学ぶ子ども
- 明るく仲良く生活できる子ども
- たくましい子ども

目指す教師像

- 子どものよさを引き出す教師
- 目標に向かって協働する教師
- 常に学び続け改善を図る教師



配置図（令和元年度施設台帳より）



各階平面図（令和元年度施設台帳より）

沿革

明治6年	高浜東町地内に創立，高濱小学校の誕生です。
明治32年10月	現在地に新築移転しました。
明治33年4月	高濱尋常高等小学校と名前を変えました。
明治33年4月20日	粕田県知事を迎え開校式を行いました。（以後，創立記念日）
昭和16年4月1日	高濱国民学校となりました。
昭和22年4月1日	高浜小学校と名前を変えました。
昭和28年11月26日	高浜町立高浜小学校から石岡町立高浜小学校へ。
昭和29年2月11日	現在の石岡市立高浜小学校となりました。
昭和48年12月16日	創立百周年記念式典を行いました。
昭和54年6月13日	現在の校舎竣工式
昭和59年11月24日	茨城県PTA連絡協議会より優良賞を受賞しました。
平成5年11月19日	創立120周年記念式典を行いました。
平成7年2月24日	「茨城県よい歯の学校」兼教育委員会教育長賞を受賞しました。
平成29年6月27日	エネルギー教育モデル校に認定されました。（～平成30年3月31日）
平成30年1月25日	体力づくり奨励賞受賞しました。
平成31年2月12日	本田記念財団助成事業校に認定されました。（～令和2年3月31日）

三村小学校

【敷地概要】

所在地 石岡市三村1853番地

敷地面積 10,774 m²

【施設概要】

施設名称	面積	構造規模	完成年度	耐震基準	耐震補強
校舎-1	1,454 m ²	RC+S 3階建	昭和40年	旧	済(H26)
校舎-2	749 m ²	S 3階建	平成15年	新	
体育館(2F) 屋内温水プール(1F)	1,629 m ²	S 2階建	平成5年	新	

学校の目標

心身ともにたくましく「生きる力」をもつ児童の育成

目指す学校像

- きれいな学校
- 楽しい学校
- 開かれた学校

目指す児童像

- よく考える子
- 仲よく協力し合う子
- 健康でがんばる子

目指す教師像

- 使命感のある教師
- 実践力のある教師
- 情熱のある教師

沿革

- 明治6年度 学制発布により，三村学校を常春寺に開設
- 明治22年度 三村学校設置許可（創立記念日～7. 1）
- 明治42年度 校舎を『御城（みじょう）』に移転増築（現在地）
- 大正6年度 高等科を併設し，三尋常高等小学校と改称
- 昭和16年度 三国民学校と改称
- 昭和22年度 三村立三小学校と改称
- 昭和29年度 石岡市と合併し，石岡市立三村小学校と改称
- 昭和42年度 校舎鉄筋3階建て工事完了，校旗・校章・校歌発表
- 昭和48年度 創立100周年記念式典
- 昭和61年度 科学技術庁長官賞受賞「創意工夫育成功労学校」
- 平成5年度 屋内体育施設及び屋内温水プール完成
創立120周年記念式典
ピアノ購入（創立120周年記念事業）
- 平成6年度 グラウンド拡張工事，体育倉庫改築
市教育論文で最優秀賞受賞（特別活動）
- 平成12年度 科学技術庁長官賞受賞「創意工夫育成功労学校」
- 平成15年度 創立130周年記念式典
校舎（特別教室）増築
- 平成17年度 市教育論文最優秀賞受賞（国語科）
- 平成19年度 学校安全優良賞受賞
- 平成21年度 市教育論文最優秀賞受賞（外国語活動）
- 平成24年度 茨城県緑の少年団コンクール茨城県緑化推進機構会長賞受賞
茨城県学校緑化コンクール茨城県緑化推進機構会長賞受賞
- 平成25年度 茨城県花と緑の環境美化コンクール茨城県花き園芸協会会長賞受賞
- 平成26年度 校舎耐震工事及び空調工事
- 平成29年度 ビオトープ全面改修

関川小学校

【敷地概要】

所在地 石岡市石川1153番地

敷地面積 13,775 m²

【施設概要】

施設名称	面積	構造規模	完成年度	耐震基準	耐震補強
校舎	1,876 m ²	RC 3階建	昭和59年	新	
屋内運動場	412 m ²	S 2階建	昭和50年	旧	済(H22)
プール	1,075 m ²	使用せず			

学校の目標

かしこく たくましく 共に心を見がきあう

目指す学校像

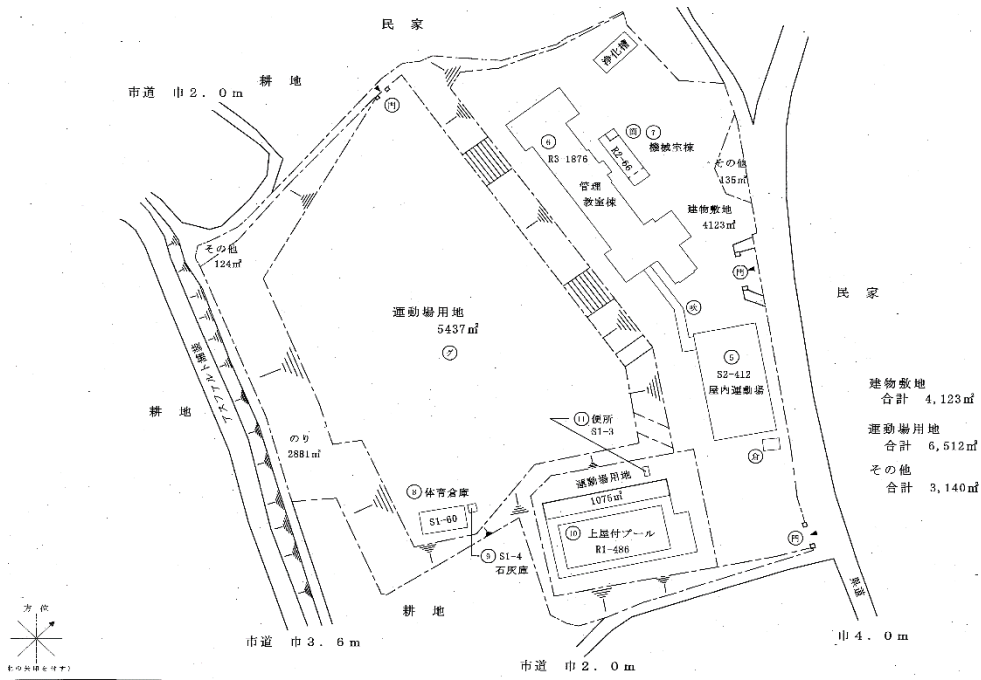
- 学びと触れ合いのある学校
- 創意工夫と活力のある学校
- 思いやりと協力のある学校

目指す児童像

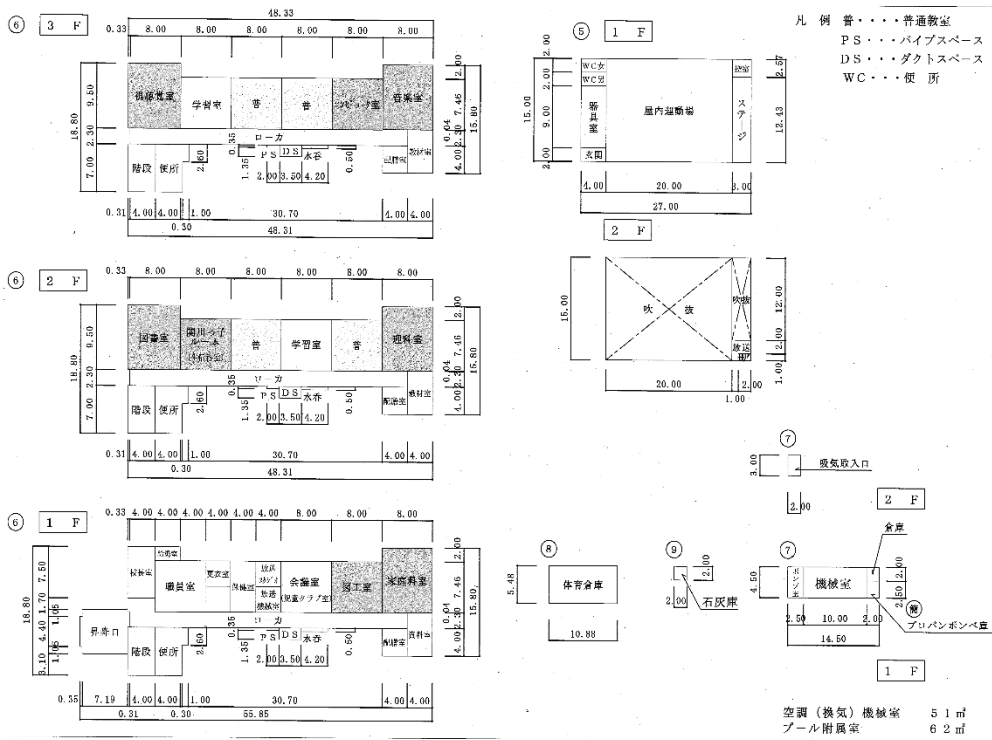
- よく考える子
- 仲良くする子
- がんばりぬく子

目指す教師像

- 情熱のある教師
- 力量のある教師
- 人間力のある教師



配置図（令和元年度施設台帳より）



各階平面図（令和元年度施設台帳より）

沿革

- 明治 9 年 9 月 盛賢寺を仮校舎に井関小学校ができる
明治 13 年 4 月 石川小学校ができる
昭和 32 年 4 月 1 日 関川小学校統合新設開校
昭和 32 年 4 月 23 日 開校記念式典（創立記念日となる）
昭和 42 年 11 月 24 日 花壇コンクール県教育長賞
昭和 51 年 3 月 19 日 体育館竣工（創立 20 周年記念式典）
昭和 60 年 3 月 19 日 新校舎竣工（防音校舎）
昭和 62 年 4 月 16 日 科学技術庁長官賞（創意工夫育成功労賞）
平成 4 年 8 月 19 日 TBS こども音楽コンクール茨城大会（優秀賞）
平成 8 年 6 月 5 日 ドーム式プール竣工
平成 11 年 11 月 3 日 学校環境緑化コンクール（農林水産部長賞）
平成 15 年 11 月 21 日 花と緑の環境美化コンクール（茨城県教育長賞）
平成 17 年 11 月 29 日 花と緑の環境美化コンクール（花き園芸協会長賞）
平成 18 年 11 月 27 日 花と緑の環境美化コンクール（茨城県教育長賞）
平成 19 年 11 月 29 日 花と緑の環境美化コンクール（茨城県教育長賞）
平成 20 年 12 月 2 日 花と緑の環境美化コンクール（茨城県教育長賞）
平成 21 年 12 月 3 日 花と緑の環境美化コンクール（茨城県知事賞）
平成 26 年 9 月 1 日 空調設備（エアコン）設置
平成 27 年 2 月 1 日 体育館修繕
平成 28 年 10 月 29 日 関川小 60 周年記念事業

南小学校

【敷地概要】

所在地 石岡市南台四丁目1番1号

敷地面積 28,621 m²

【施設概要】

施設名称	面積	構造規模	完成年度	耐震基準	耐震補強
校舎-1	2,675 m ²	RC+S 3階建	昭和50年	旧	済(H22)
校舎-2	1,404 m ²	RC 3階建	平成5年	新	
屋内運動場	859 m ²	S 2階建て	昭和53年	旧	済(H22)
プール	939 m ²				

学校の目標

豊かな人間性をもち 何事にも主体的に取り組む児童の育成

目指す学校像

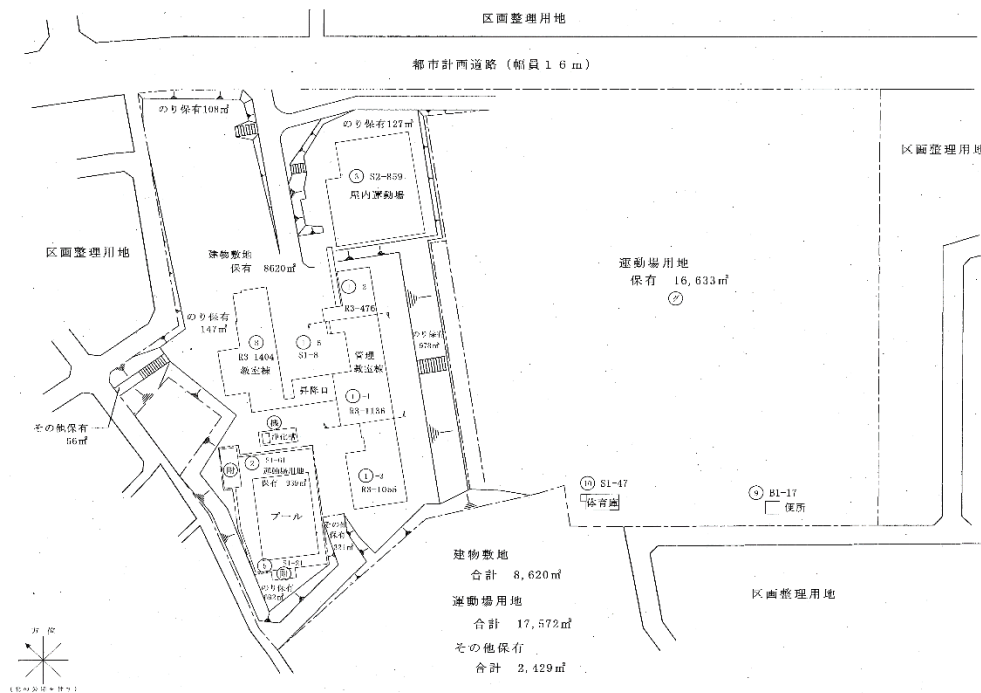
- 思いやりと活力に満ちた学校
- 互いが認め合い、学び合い、成長できる学校
- 保護者、地域から信頼される学校

目指す児童像

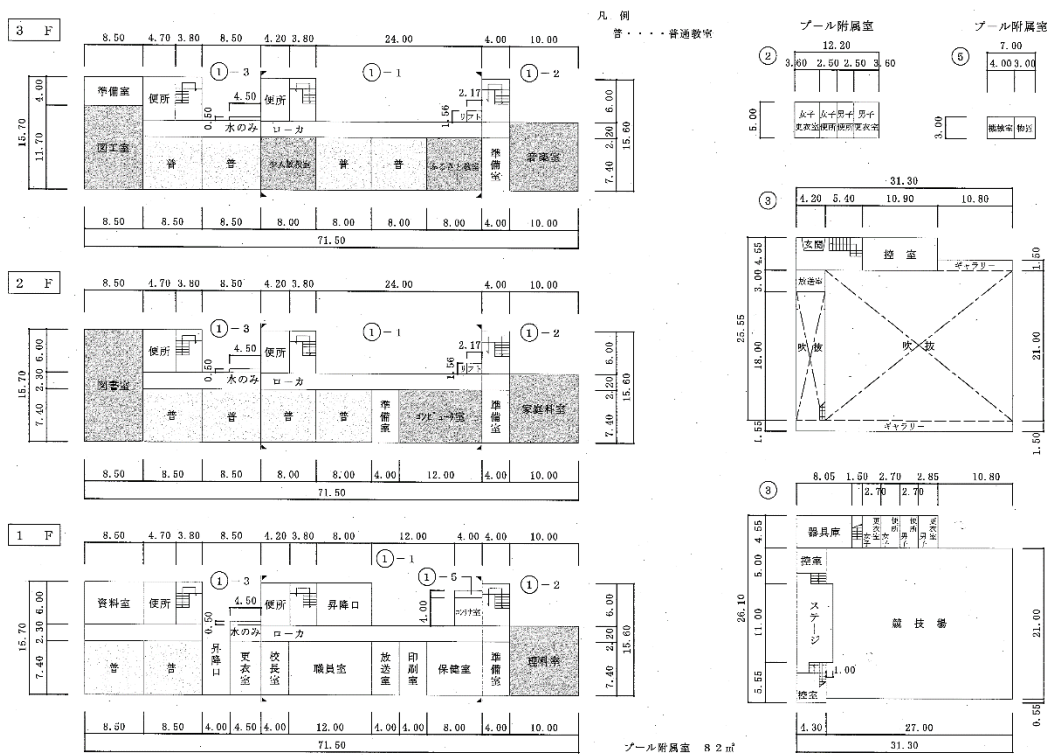
- 何事にも本気で打ち込む児童
- 互いのよさを認め合い、相手を思いやる心をもつ児童
- 心身ともに健康で、最後までがんばる児童

目指す教師像

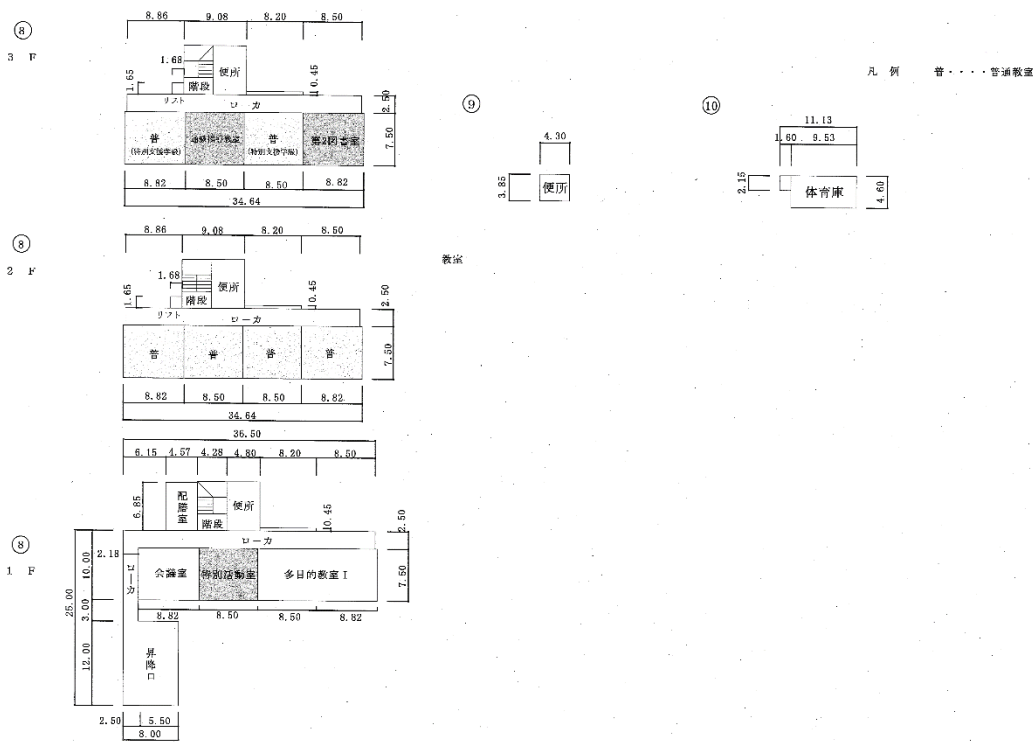
- 教育に情熱を持ち、児童の夢を育てる教師
- 子どもの気持ちを理解できる教師
- 資質や指導力の向上に努める教師



配置図(令和元年度施設台帳より)



各階平面図(令和元年度施設台帳より)



各階平面図（令和元年度施設台帳より）

沿革

- 昭和 51 年 4 月 石岡市立南小学校として開校
- 9 月 開校記念碑除幕式
- 校章・校歌・校旗披露式
- 昭和 52 年 7 月 プール竣工
- 昭和 54 年 2 月 校舎増築工事竣工
- 昭和 60 年 10 月 創立 10 周年記念式典
- 昭和 61 年 3 月 「南小子ども像」除幕式
- 平成 3 年 3 月 校庭拡張及び外構工事完了
- 平成 4 年 4 月 フラワー橋完成
- 平成 6 年 3 月 校舎増築竣工
- 平成 7 年 10 月 創立 20 周年記念式典
- 平成 15 年 2 月 県読書活動推進優良校表彰
- 平成 17 年 11 月 創立 30 周年記念式典
- 平成 21 年 4 月 文部科学省創意工夫功劳学校賞受賞
- 平成 27 年 創立 40 周年記念式典
- 平成 29 年 茨城県発明工夫展団体賞
- 平成 30 年 茨城県発明工夫展団体賞

10. 跡地利活用について

1. 学校跡地利活用の基本的な考え方

(1) 公共施設等の適正化

石岡市総合計画，石岡市公共施設等総合管理計画，石岡みらい創造プランとの整合性を図りながら，中長期的な視野から公共施設等の適正化を目指します。

(2) 地域の意向を踏まえた活用

学校は，地域コミュニティや地域活動を支える中心的な場を担ってきた経緯を踏まえ，地域の意向に配慮した活用法を検討します。

(3) 民間事業者等による活用

財政運営の改善と効率化のために，民間業者へ学校跡地の売却や有償貸与を行うなどの活用についても検討します。

(4) 暫定利用について

学校施設については，統合となった後に教育財産としての用途廃止の手続きに相応の時間を要します。よって統合後直ちに利活用が図れるものではないため，用途が決定し正式な利活用が図られるまで，校庭や体育館については，暫定的に地域に開放いたします。

2. 跡地利活用における優先順位

跡地利活用にあたっての優先順位は，前述「1. 学校跡地利活用の基本的な考え方」を踏まえたうえで，下記の項目順とします。

(1) 本市事業による利活用

対象地において，市が行政目的で利活用（転用）することが検討される場合は，事業展開の可能性を優先して検討します。

(2) 公共・公益的団体等による利活用

他の公共団体や，福祉・教育施設など公益的な事業を民間業者が行う要望があれば，これら事業展開による利活用を検討します。

地域活動を支える地域コミュニティの場として，地域が施設の利活用，維持管理，運営など事業計画等の提示により学校跡地を利活用したい要望があったときは，利活用内容を精査したうえで検討するものとします。

(3) 民間事業者等による利活用

公共・公益的な利活用が見込めない跡地については，売却を基本に有償貸与も含め，民間事業者等による利活用を検討します。

民間事業者等の他団体による跡地利活用については，市全体の課題解決や市の重要施策の実現に寄与することに加え，地元の意向も尊重して事業者等の健全性，事業内容の安全性・継続性とともにより市や地域へ与える影響なども十分に考慮したうえでの利活用とします。